

黄昏処女

たそがれおとめ



成年
コミック



黄昏処女

たそがれおとめ

やすりん堂

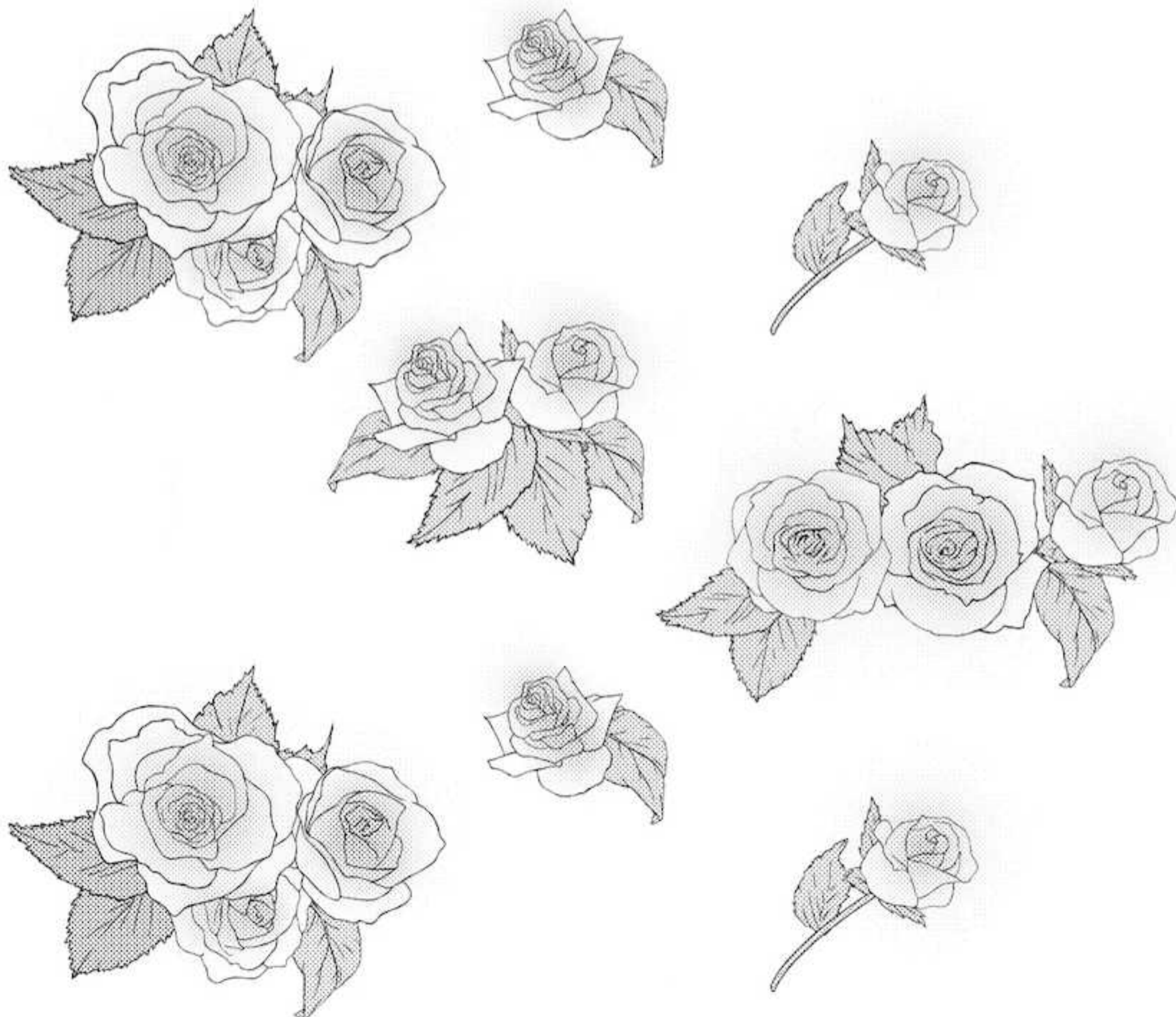
前書き

初めての方、はじめまして！常連さん、いつもどうも～！やすりん堂代表のヤスリンこと安麟太郎（やす りんたろう）と申します。この度は「黄昏処女」をお買い上げ下さり、ありがとうございます。（^-^）

この春に始まったアニメの中で、自分的にダークホースだったのが黄昏乙女 アムネジアでした。全く前知識無しで観た瞬間、最初に思ったのが、これって「ファミコン探偵倶楽部うしろに立つ少女」？（笑）学校の怪談で、校内にある大鏡の前に立つと、自分の後ろに見慣れぬ長い黒髪の少女が立っている。それはこの世に恨みを残して死んだこの学校の女生徒であるという物語。でも実際の夕子さんは、何故かとても明るく天真爛漫で、主人公の貞一にあれやこれやとちょっかいを出してきます。その独特な世界観、美しい映像、魅力的なキャラクターで、あっという間に僕はこの作品の虜になりました。

今回はその夕子さんのちょっとエッチなお話です。その魅力的な身体でいつも貞一をドキドキさせながら、実は結構純情な彼女。なんたって処女なんですから。そんな彼女と貞一の初体験を題材にしてみました。二人が結ばれるなら、多分こんな感じじゃないのかと。（^-^;）

というわけで、夕子さんの初体験の始まり始まり～！（^-^）/



この学園には
古くから伝わる
怪談がある

祟りを
鎮めるために
人柱にされた
一人の少女の
悲しい伝説

貞一くんっ！

わあっ!?

5

そう、彼女こそが
その怪談の主人公の
夕子さん

ズリズリ

僕は彼女に
ご覧の通り
取り憑かれている
わけで…

彼女は幽霊なのに天真爛漫
無造作にそのたわわな身体を
僕に晒してくる

思春期の僕にとって
それは拷問に近い
セクハラなわけで

6

我慢の限界が近いと
いうかなんというか…





いいかげんに
して下さい！

夕子さん、今日こそ
言わせてもらいます！
その格好なんか
なりませんか？

我が校の校風は
男子は質実剛健、女子は貞淑
それをそんなはしたない
格好で…恥を知りなさい！



いいじゃない、別に
どうせ私の姿は
他の人には見えない
んだから



僕には丸見え
なんですよ！
毎日そんな姿を見せ
られる僕の身になって
下さい！



もお、貞一君たら
照れ屋さんなんだから

だから、そうやって
胸を押しつけないでっ

む、貞一君の
いけず！





でも、私も
貞一君と同じだよ

？

私も、恋を知らないまま
死んじゃったから
貞一君と一緒に…

それなのに貞一君のこと
童貞だなんて
からかってごめんね

夕子さん…

……

貞一君…

夕子さん！

そうだった…夕子さんこそ
若くして死んでしまつて
この世にたくさん未練が
あるはずなのに

そんなそぶりをちつとも
見せずに…それなのに
僕は自分のことばかり…



自分と初体験
しませんか?



あ…



え？



私も、貞一君じゃ
なきや嫌！
貞一君がいいの！

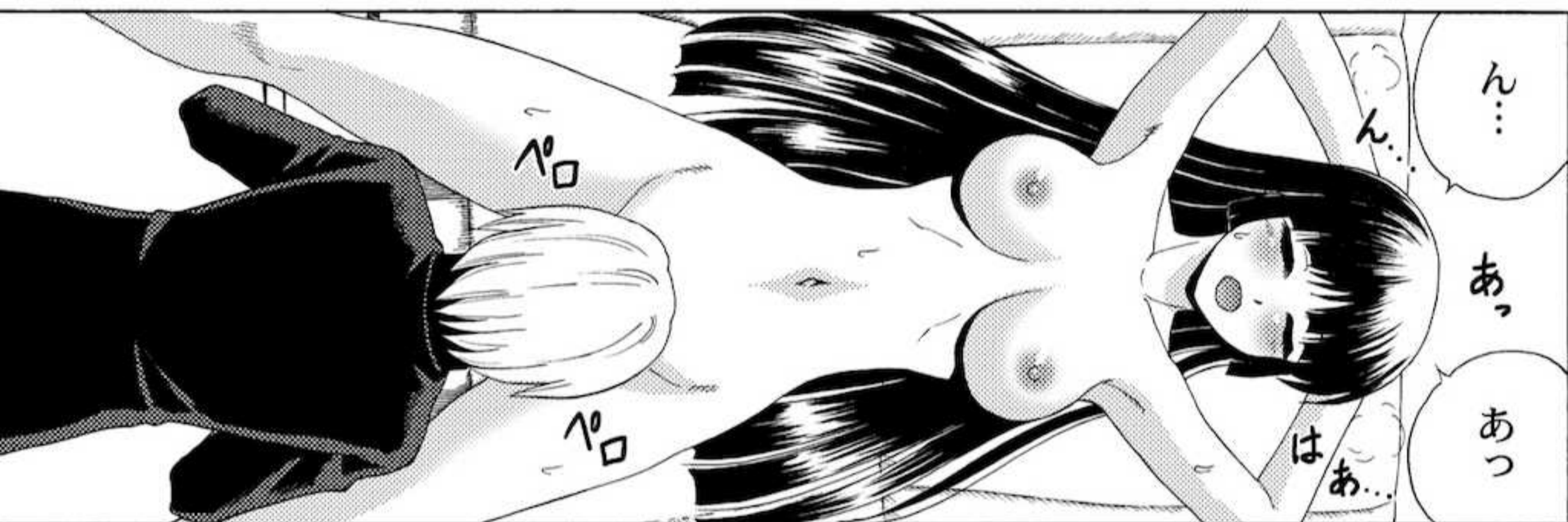


ぼ、僕は夕子さん
なら…いえ、
夕子さんが
いいんです！



あ、あの…本当に
僕でいいんですか？

貞一君こそ、幽霊の
私で良いの？



11





12

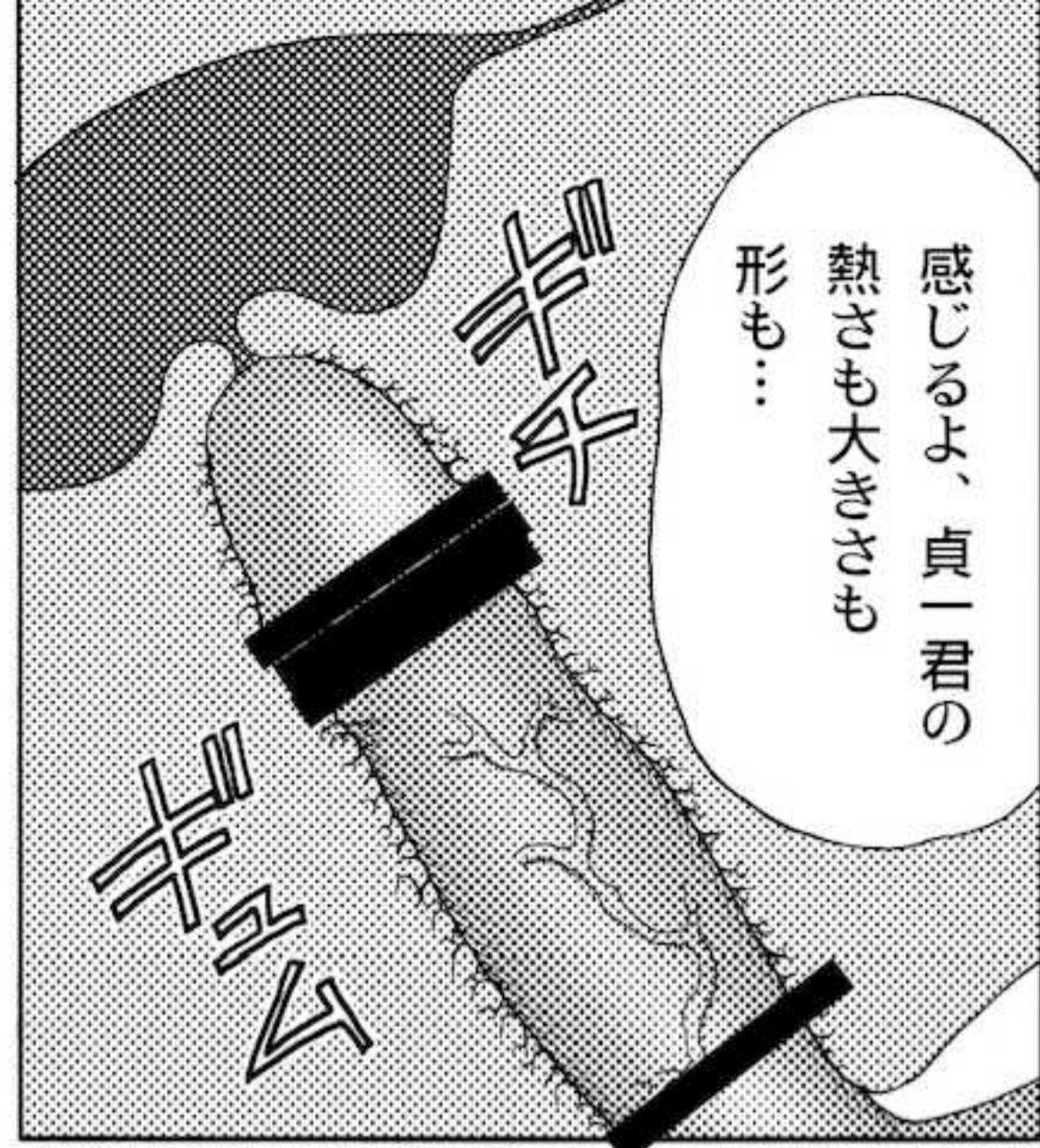




私達、繋がったんだね
嬉しい…

はあ

はあ



感じるよ、貞一君の
熱さも大きさも
形も…



ねえ、もう大丈夫
だから動いてみて

わかりました



いっよ…
もっど、もっど

貞一君、ああっ

あっはっ

あっ

ズッ
ズッ
ズッ



あつあ

はんっ



僕、もう…

ぶねね…

ああっ、夕子さん
そんなに締めないでっ



ギュウッ
ギュウッ

キュウッ
キュウッ



あっ、熱っ

あ…

あ…

ひゅ
ひゅ
ひゅ

キ
ン

キ
ン

キ
ン



あんな

あつ…

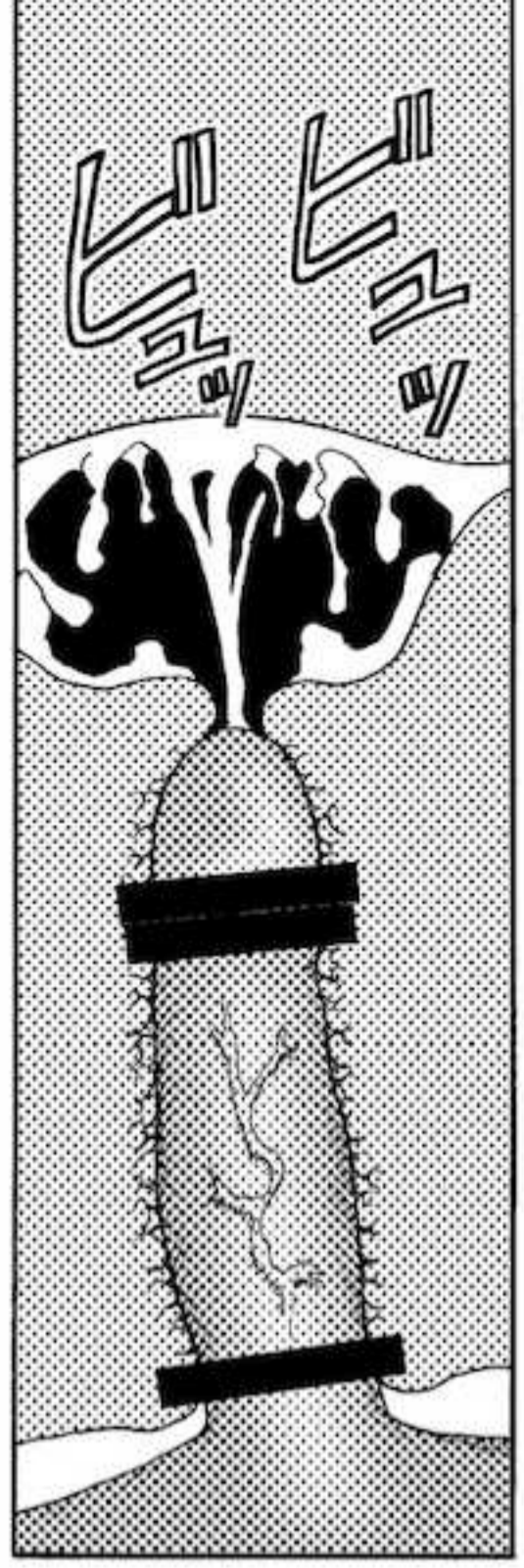
アホアホ

アホアホ



す、すみません
すぐいっちゃって…

ううん、
初めてだもの
気にしないで



ビュッ
ビュッ



アホ



アハア

うふふ、また
元気になった

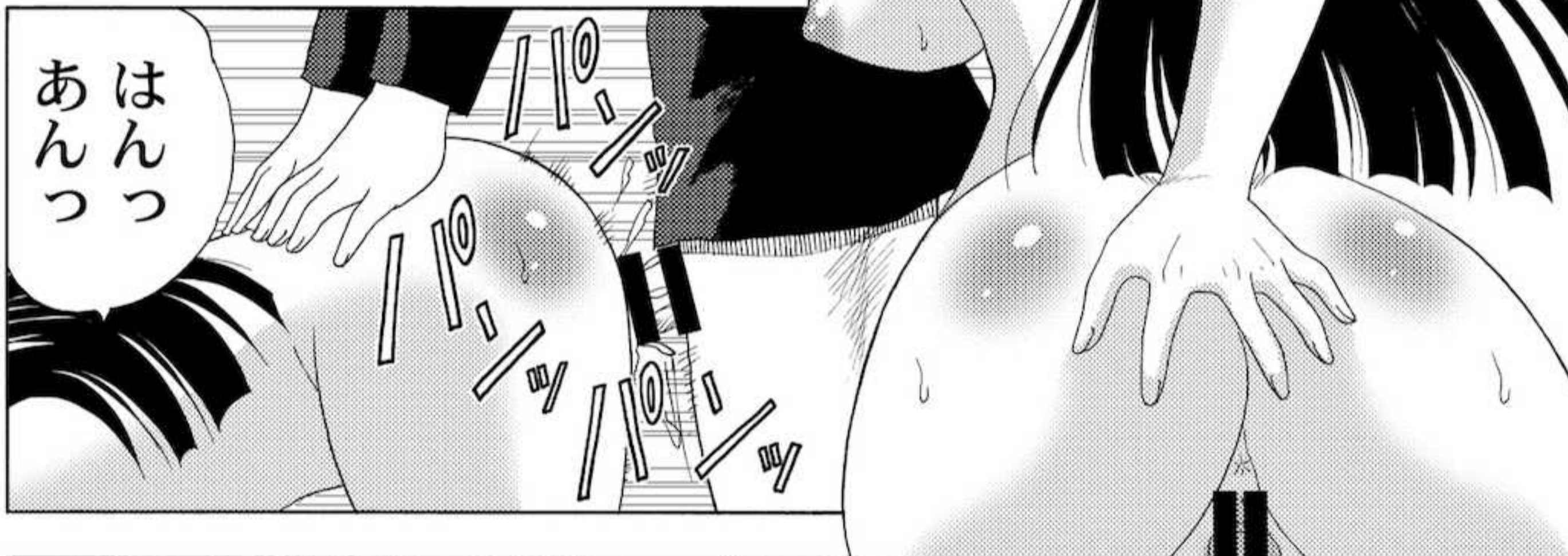


キエキエ



びくっ

ああつ、夕子さん
そんな…





いく…イク



ああんっ





貞一君の…
凄いつ!

私、お腹の中
掻き回されるう



いく…私また
いっちやうつ



はあああつ

あ…

は…



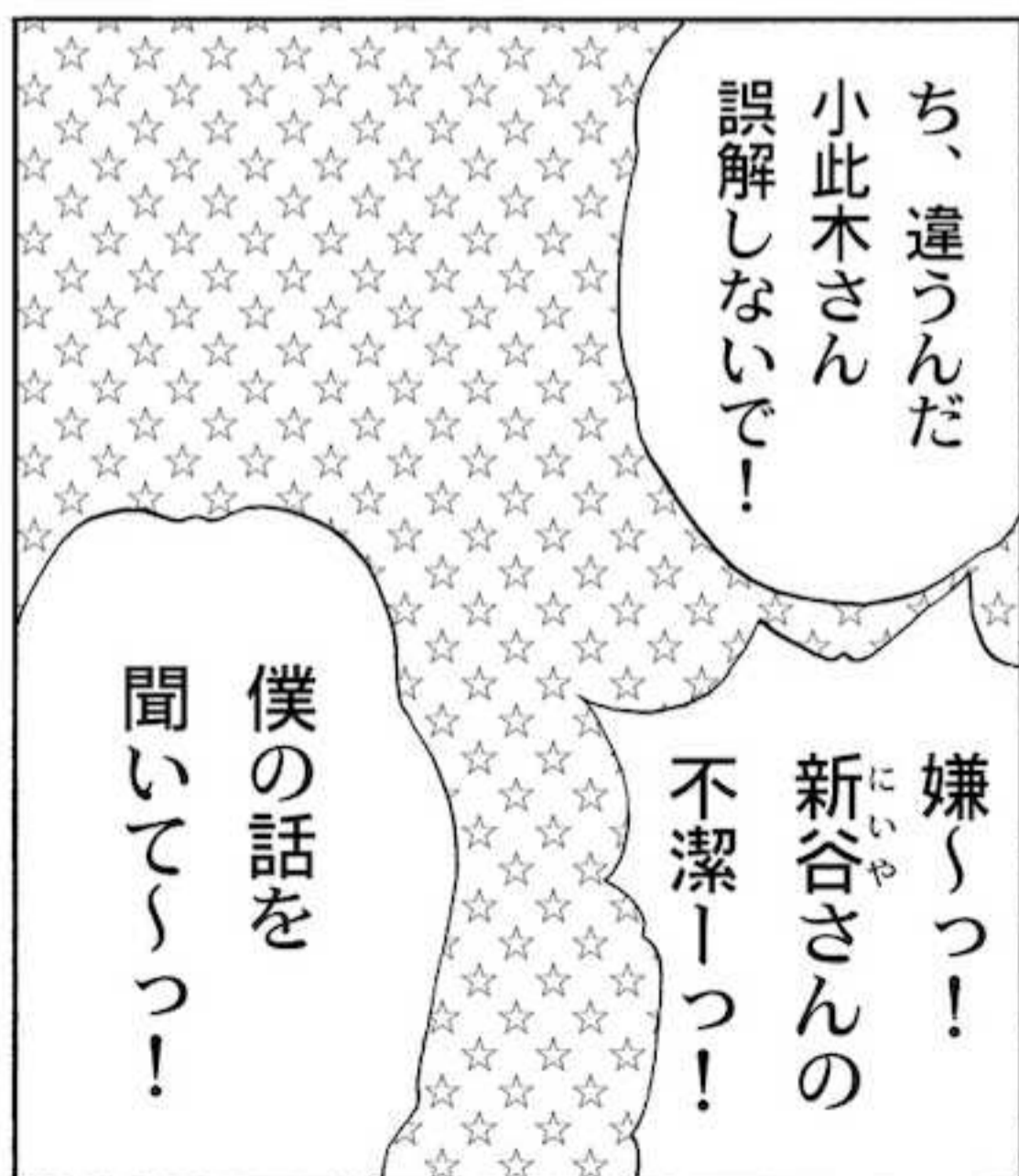
あゝあゝ

真一 ぐんぐんぐんぐん

びくびく

じりり

ぐんぐん



おしまい





黄昏処女

-Dusk Virgin-

■本当にあった怖い話■

ども、ヤスリンです。いつもだったらこのページは、イラストなどを載せるスペースなのですが、今回はオカルトチックな原作に合わせ、いつもと趣向を変えてお届けします。

皆さんは、幽霊や心霊現象を信じますか？科学が進歩した現代、こういったものは迷信や勘違いで、幽霊なんかいないと思う人がほとんどだと思います。でも、本当に迷信と切り切ってしまうって良いんでしょうか？そもそも人類の文明が始まって約六千年、洋の東西を問わず、どの民族でも霊魂や死後の世界が信じられてきました。そういった歴史の積み重ねを、簡単に迷信だと言い切る方がむしろ不自然だと思うんですよね。

ちなみに僕は少々霊感があります。そのせいかこれまで度々ちよっと怖い体験をしております。霊感というと、オカルトチックに思う人が多いと思いますが、実際に持っている僕からすると、それは特別なものではなく、ちよっと人より感受性が高い程度のものなんです。

そう、それはかつて全ての人間が持っていたごく普通の力。文明がまだそれほど発達していなかった時代、人間が多くの外敵から身を守るために持っていた何かを未然に察知する能力、

それが霊感だと思うのです。

人間は進化の過程で、不必要なものを次々に捨ててきました。例えば、百年ほど前まで足の小指は骨が3本だったのに、現代人は2本に減ってしまいました。これは靴を履くようになって、小指が小さくなった方が便利だからだと言われています。それから、永久歯の数は50年ほど前まで32本だったのですが、現代人は28本に減ってしまいました。これは硬いものを食べなくなって顎の骨が小さくなり、いわゆる親知らずが生えるスペースが無くなってしまったからだそうです。ちなみに僕は足の小指の骨が3本有り、永久歯も32本有るのですが。（苦笑）

霊感もそういった感じで、かつてみんなが持っていたごく普通の感覚だったんじゃないかと。それが文明の発達で不要になり、失われていった能力なのだと思います。そして、ごくまれにその力を先祖返りとして持っているのが、霊能者なんじゃないかと。

それでは、僕が現実に体験した怖い話を紹介します。

『恐怖！ラップ現象』

それは僕がまだ高校生だった頃のお話。当時僕はとある田舎町で下宿生活をしていました。父親が事業で失敗して一家離散となり、僕は親戚を頼って母方の田舎の学校に転校したものの、その親戚の家も高3の春に追い出されて、奨学金を頼りに細々と下宿生活をしていたのです。

その下宿屋は、街の小さな定食屋が片手間で作っていて、山奥の部落から出てきたり、僕のように家庭の事情で一人暮らしをしなくてはならない学生が、何人かお世話になっている所でした。店のある母屋の裏にあった物置を改造して、四畳半の部屋をいくつか仕切ったボロボロの部屋。自分を追い出したのは別の親戚が様子を見に来て、そのあまりの酷さに涙を流したほどの、それはそれは酷い所でした。でも僕はまだ若かったし、親戚の嫌な叔父さん夫婦に気兼ねをしなくても良くなったので、結構楽しく生活していました。

その下宿に移り住んでから半年経った、高校3年生の秋のこと。その日は母屋の食堂で夕飯を取った後、下宿していた何人かの仲間となぜか怪談に話を咲かせていました。そして夜8時過ぎに自分の部屋に戻り、ラジオを聞きながら受験勉強をして

いました。

時刻が夜11時半を過ぎたので、そろそろ寝ようと歯を磨き、離れの外にある井戸で口をすすぎ、部屋に戻ったのが夜11時45分。そしてパジャマに着替えて布団に潜り込んだのが夜11時50分でした。僕は寝付きが良い方なので、いつもなら5分ほどすれば直ぐに眠りにつくのですが、その日は何故か目が冴えて、5分経っても全然寝られませんでした。

その晩は風もなく、とても静かな秋の夜でした。時計の音がやけに大きく響き、ちいさな物音まではっきりと聞こえるほどしんと静まりかえっていました。ちなみに下宿の裏庭は細かな玉砂利が敷かれていて、猫が通ってもこんな静かな夜は足音が聞こえるのです。

今でもはっきり憶えています。時計の針が23時55分を指したときです。不意に部屋の西側のガラス窓を、誰かがコツコツと叩くのです。僕の部屋は離れの北西角にあり、西と北に窓があり、部屋の入り口は南側にありました。普通僕の部屋を訪れる人間は、その南側の戸を叩くはずなのに、なんで西側のガラス窓を叩くのだろうと不思議に思ったのですが、ふと、母屋の側の部屋にいる人間ならそこを叩くんじゃ

ないかと思ひ、「Nか？なんか用かい？」と、声を掛けました。

しかし、僕の呼びかけに返事はありませんでした。おかしいと思つて、もう一度呼びかけましたが、全く返事がありません。そして、今度は北側のガラス窓を誰かがコツコツと叩きました。誰かがふざけて僕を脅かそうとしているのか？何となく腹が立った僕は、下宿していた何人かの仲間の名前を呼んで、お前らふざけんなよ！と、強めの語調で怒りました。

その時です。ピシーンツという木がはじけるような音がしたかと思つと、今度は同時に両方の窓がコツコツと叩かれ始めたのです。そしてさらに廊下側の扉や板の壁、天井までがドンドンツと叩かれ始めました。その時になつて、ようやく僕はこの事態が尋常じゃないことに気づきました。そして起きて外の様子を確かめようとしたのです。

ところが、僕は身体の内を失っていました。目ははつきりと覚めていて状況認識もちゃんと出来ているのに、首から下が全く動かさないので。いわゆる金縛り状態！僕は人生の中で一度も金縛りにあったことがなかったので、最初はその状況を理解出来ませんでした。

怖い！もの凄く怖い！今まで体験したことのないもの凄く恐怖で、僕はパニック寸前まで陥りました。お願い、誰か助けて！悪霊退散、悪霊退散！臨兵闘者皆陣烈在前！と、密教九字の印を唱えてひたすらその状況を耐え続けました。

すると、時計の針が午前0時を指した瞬間に、不意にその音が止んだのです。そして同時に身体の内が利くようになりました。僕は布団の中で注意深く様子を伺ひ、やがてゆっくりと起き出して、窓から外の様子を伺ひました。

しかし外には誰もいませんでした。外の玉砂利の所には足跡ひとつ無く、廊下にも誰も出た形跡はありません。他の部屋の人間は皆、寝静まっていたのです。

冷静に考えると、不思議なことばかりでした。当初西側のガラス窓が叩かれたのですが、よくよく考えるとそこには大きな盆栽棚がしつらえてあつて、叩こうと思つても、それこそ2mの大男でない限り手が届かないのです。そして北側のガラス窓の外には高いブロック塀があつて、塀と窓との間は僅か50センチほど。その間に入ろうと思つても、前出の盆栽棚が邪魔して入ることが出来ません。さらに塀の外側の路地も砂利道で、人が通ると足跡が聞こえるはずなのです。

しかし窓を叩く前も後も、人が来たり帰ったりした足音は聞こえませんでした。

最後にたどり着いた結論は、やはりあれはラップ現象（霊が音を出す現象）だったんじゃないかと。部屋に入る前に、僕は食堂で怖い話を沢山聞いていました。昔から言われていますが、怪談をしていると良くない低級霊を招いてしまうことが多々あるんだとか。僕らは会談をしている際にそういった低級霊を招いてしまったんだと思います。

ただ、それが部屋に入ってこなかったのは、僕が部屋の四方にお札を貼っていたからだと思われ。小さい頃から心霊現象に度々遭っているせいで、僕はそういうことに用心深く、その部屋に入ったときも、部屋の四方と鬼門の方角に神社で買ってきたお札を貼っていました。そのおかげで、壁を叩いた霊達が入ってこられなかったと思っています。

とりあえず、翌日この話を下宿屋の皆にしたら、全員真っ青になってしまいました。その時間は誰もが就寝していて、誰もこの事態に気づいていなかったのです。一番近くの部屋にいた友人も、いつもよりずっと深い眠りにあって、全く気づかなかったんだとか。

結局今になっても、その出来事がなんだったのか、未だに分かりません。とにかく世の中には科学では説明出来ない何か不思議なことがあるんだというのが、僕の結論であります。

皆さんもこのような体験をしたことがありませんか？僕はまだまだいっぱいこんな体験をしております。もしまたこういう話を聞きたい方がいらっしゃったら、ホームページのメールフォームでリクエストしてください。また何かの機会にお話ししますので。



URL : <http://homepage3.nifty.com/yasrin/>
email : yasrinjr@nifty.com

pixiv : <http://www.pixiv.net/member.php?id=156276>

やすりん堂の公式HPを公開しています。同人情報を始め、イラスト・創作小説
業界の裏情報(笑)等々様々なコンテンツがあります。是非遊びに来てくださ
いね。ちなみにダメ日記は毎日更新中です。(^_^)



「春秋*乱舞」

曹魏の双柱、夏侯惇&夏侯淵本。いつも一刀に暴力をふるってしまう春蘭だが、本当は彼のことが大好き。その思いを伝えるために、秋蘭相談してメイド姿でご奉仕することに。そして秋蘭も秘め事に参加して…。



「温泉*無双」

やすりん堂初のオールページフルカラー本。温泉でくつろいでいた一刀の元に、ご一緒させて下さいと、桃香と愛紗が！？二人がご主人様に身体を張ったご奉仕を頑張っちゃいます！総天然色の営みをどうぞお楽しみください。



「シュリひな」

北郷一刀の名の下に三国が統一されて数年後。二十歳前だというのに相変わらずのロリ体型な二人が、身体の悩みを華琳に相談して、一刀にエッチをせがみます！ちょっと笑えてハートウォームなエッチ漫画です。

NEW!



「桂花*苟潤」

一刀が華琳と毎夜子作りをするのを快く思っていなかった桂花は、偶然風呂で一緒になった彼を亡き者にしようとしたのだけれど、滑って転んで一刀と合体、自分が子作りする羽目に！？

NEW!



「アコースティックにあずにゃんと！」

「けいおん！」中野梓本。唯達が卒業して、一人軽音部を支える梓は、ストミュで…。読者視線であずにゃんととの恋愛をお楽しみください。



「私のあなた様」

アイマス四条貴音本。業界の大物、大富氏に強引に迫られた貴音は、プロデューサーに「私を抱いてあなた様のものにして下さい」と懇願します。そして二人は…。

「おにいちゃん
ゴメンねっ」

俺の妹はメッチャ可愛い！容姿端麗頭脳明晰スポーツ万能、おまけに性格も良くて兄の俺を慕ってくれる完璧な妹だ。そんな妹が…。兄×妹の人気創作シリーズ、ただ今刊行中！



「先輩、
ガンバッ！」

やすりん堂のオリジナル作品シリーズ。夢のために頑張っている男の子を応援する女の子。そんな先輩後輩の恋を描いた作品群です。現在1～3が刊行中。



※やすりん堂ではHPにて同人誌の紹介を行っています。興味のある方はどうぞ「キッチンやすりん亭」へお越し下さい。(^-)/
なお、虎の穴&メロンブックス等で委託販売をしています。

後書き

最後までお読み下さりありがとうございます。今回の作品はいかがでしたでしょうか？

今回は意識的にトーンを減らしてみました。元々僕は劇画系の人間なので、トーンを多用するよりも、ペタとペンタッチを使って描く方が好きなんですよね。原作漫画の方もそんな感じだったので、良いんじゃないかなと思ひまして。(^_^;)でもね、僕が本当にペンタッチを使って描いちゃうと、もう美少女漫画にならないので、この辺りで止めておきます。そういう漫画が読みたい人は、また別の機会に。コミティアとかでリクエストされたら、オリジナル漫画で描いちゃうかも。(笑)

それにしても最近はジャンルを見つけるのが大変で…。今回の本も、ポンッと題材が見つかったから描けましたが、一時期はホントに何を描けばいいのか分からなくて。昔はセラムンとかLeafとか、このジャンルをやっておけば大丈夫というような鉄板の題材があったんだけど、最近はすっかりそういうのが無くなって、1クールで終わるアニメで、当たりそうなものを見つけて描かざるを得ない状況というのが、作家として辛いです。他の漫画家の友達もみんな悩んでおります。だから、なんか良い題材あったら教えてくださいね。(^_^;)/

では、次回作でお会いしましょう！(^-^)/v

奥付

『黄昏処女』

2012年8月12日 初版第一刷発行

著者・発行者 安麟太郎 (ヤスリンJr.)
Rintaro Yasu (Yasrin-jr.)

発行所：やすりん堂 (泰鈴堂)
印刷所：有限会社ねこのしっぽ

やすりん堂HP : <http://homepage3.nifty.com/yasrin/>
email : yasrinjr@nifty.com

連絡先 〒174-0065
東京都板橋区若木1-18-9アヴニール若木105 Y. TAKAHASHI

Dusk Virgin



YASRIN-DO
Presents